

芝久保小学校

研究だより

令和6年7月15日（月）No.1
西東京市立芝久保小学校
校長 久森 信

研究概要と高学年実践号

盛夏の候いかがお過ごしでしょうか。保護者の皆様には、なお一層健やかに過ごしのことと存じます。今年度の校内研究が始まりました。全教職員で芝久保小学校の教育目標を基に「どんな子どもたちを育成していくのか」「低中高学年で目指したい児童像」を共有しながら、校内研究の充実を目指しています。今年度は、昨年度の「自分の思いや考えを表現できる児童の育成～国語科『話すこと・聞くこと』を中心とした言語活動の充実を通して～」の成果と課題を踏まえた上で、

自分の考えをもつことができる児童の育成
～「学習過程」と「指導の個別化」の工夫を通して～

と設定しました。年間3回の授業研究や児童意識調査（アンケート）を通して、自分の考えをもつことができる児童の育成を目指していきます。今年度も学校教育へのご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。

研究構想図

西東京市立芝久保小学校教育目標

自他の人権を尊重し、よりよい国際社会を築くための資質や能力の伸長を図る。自ら学び、自ら考え、元気で心豊かな思いやりのある児童の育成を目指す。

粘り強く考える子 ◎仲良くする子 元気に活動する子

自分の考えをもつことができる児童の育成
～「学習過程」「指導の個別化」の工夫を通して～

授業改善のイメージ

考えをもつこと（全ての児童の共通目標）

学習過程

「考えをもつ」場面を含む、45分間の授業全ての活動を見直し、工夫をしていく。

指導の個別化

「考えをもつ」場面に焦点を当て、個々の児童に応じた異なる学びの場を設ける等、指導の工夫をしていく。

学びの土台作り

- 表現の素地作り
聞き方「あいいうえお」話し方「かきくけこ」の掲示、学級ごとに焦点化して活用する。
- 児童の心理的安全性の確保
一人一人が自分の学び方に自信をもって取り組める環境を育てる。

裏面に、6月に行った高学年分科会の実践授業の様子が載っています。ご覧ください。

高学年分科会 (道徳実践)

《高学年分科会 目指す児童像》
道徳的諸価値の理解をもとに、自己の考えを表現できる児童

◎自分の考えの変化や深化を実感し、主題について考えられる資料提示の工夫
導入で「友達と仲良くするために大切なこと」についてのアンケート結果を提示し、一人一人が主題に迫ることができるような工夫を行いました。



◎主題について自分の言葉で演じる役割演技
事前に主題に対する考えを表出し、役割演技を通してその考えの変容や深まりを感じさせる工夫を行いました。



◎考えをもつ方法の選択（「選択タイム」）
自分の考えをもつために、友達や先生と相談したり、考えを共有したりする時間を意図的に設けました。友達の考えに対して「なるほど!」と共感したり、「どうしてそう考えたの?」と問い返したりと意欲的に取り組む姿がたくさん見られました。



道徳の学習では、道徳的諸価値の理解を基に、自分の考えを表出します。しかし、子どもたちは自分の考えをもつことに苦手意識をもっています。今回の授業実践でも、選択タイムに入る前に考えがまとまらず悩んでいる子もいました。子どもたちの中には、じっくり一人で考える子もいます。また、すぐに友達に話しかけに行く子もいました。子どもたちが自分に合った学び方を選択し、学習に向かう姿が本当に素晴らしかったです。

「主題に迫るための考えをしっかりとってほしい。」
「子どもたちが自信をもって、自分の考えを伝えられるようになってほしい。」
という授業者の想いが十分に詰まった授業になりました。また、今回の授業実践で得た成果を今後の授業でも生かしていきます。

次回の授業研究は中学年分科会が行います。また、その様子を「芝久保小研究だより」で紹介していきます。